

JCET2000 10.08.(Sun) @鳴門教育大学
一般研究II 講演番号 I2B21a4

在宅学習支援を目的とした コミュニケーションボードの開発

関西大学大学院総合情報学研究科

渡辺 哲郎

(wtnabe@mba.nifty.com)

発表の流れ

- 不登校へのアプローチ
- 在宅学習の利点
- 支援するもの
- 本ボードのコンセプト
- ボードの特徴

不登校への様々なアプローチ

- 学校への復帰
 - 教室、保健室、校長室、校門タッチ
- 病院などの施設でのカウンセリング
- 教育相談所、フリースクールへの“通学”
 - 通学型（居場所系・学習指導系）、寄宿型
- 遠隔カウンセリング
- 在宅学習

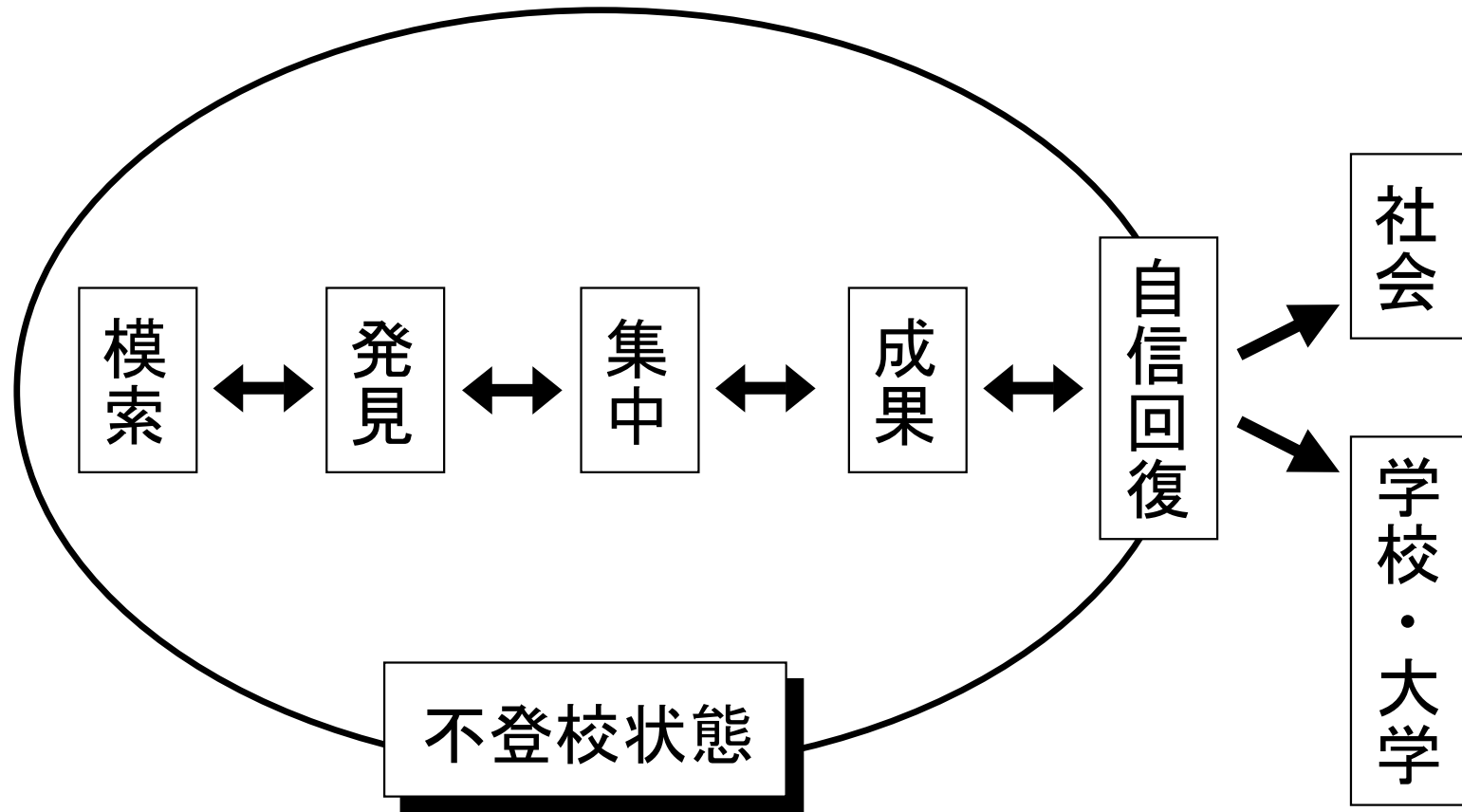
在宅学習の利点

以下を避けることができる

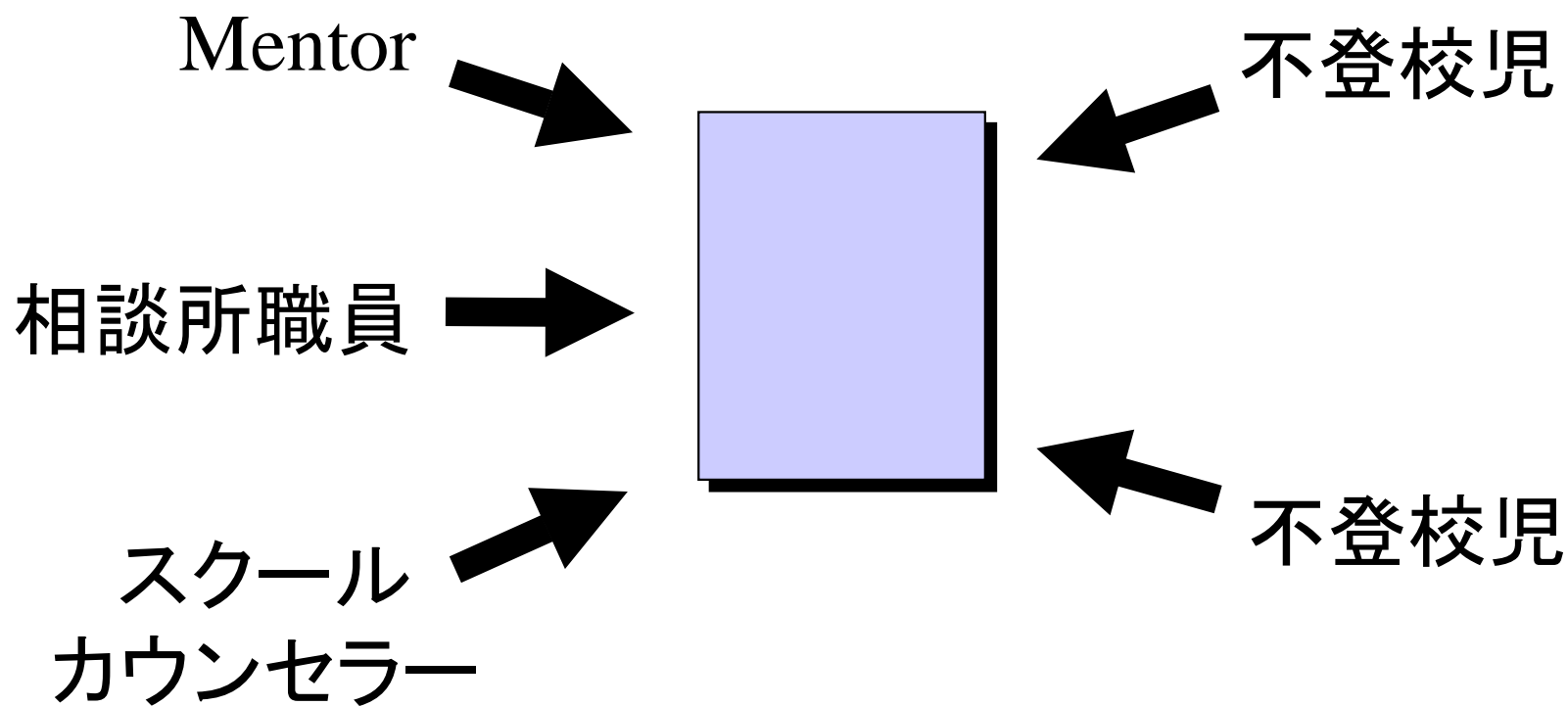
- 学校生活、学校そのもの
- 集団
- 他人とのオーラルコミュニケーション
- 第三者の決めた行動時間

マイペースを保てる

支援するもの



コミュニケーションボードの 利用者/参加者



本ボードのコンセプト

- 在宅
- WWWベース
- コミュニケーションを重視

WWWベース

- Yahoo 掲示板など、一般にも十分浸透している
- 掲示板を利用した共同学習など優れた先行事例が豊富

コミュニケーションを重視

- メンタルケア
- 思いや考えを書き表すトレーニング
- セルフモニタリング

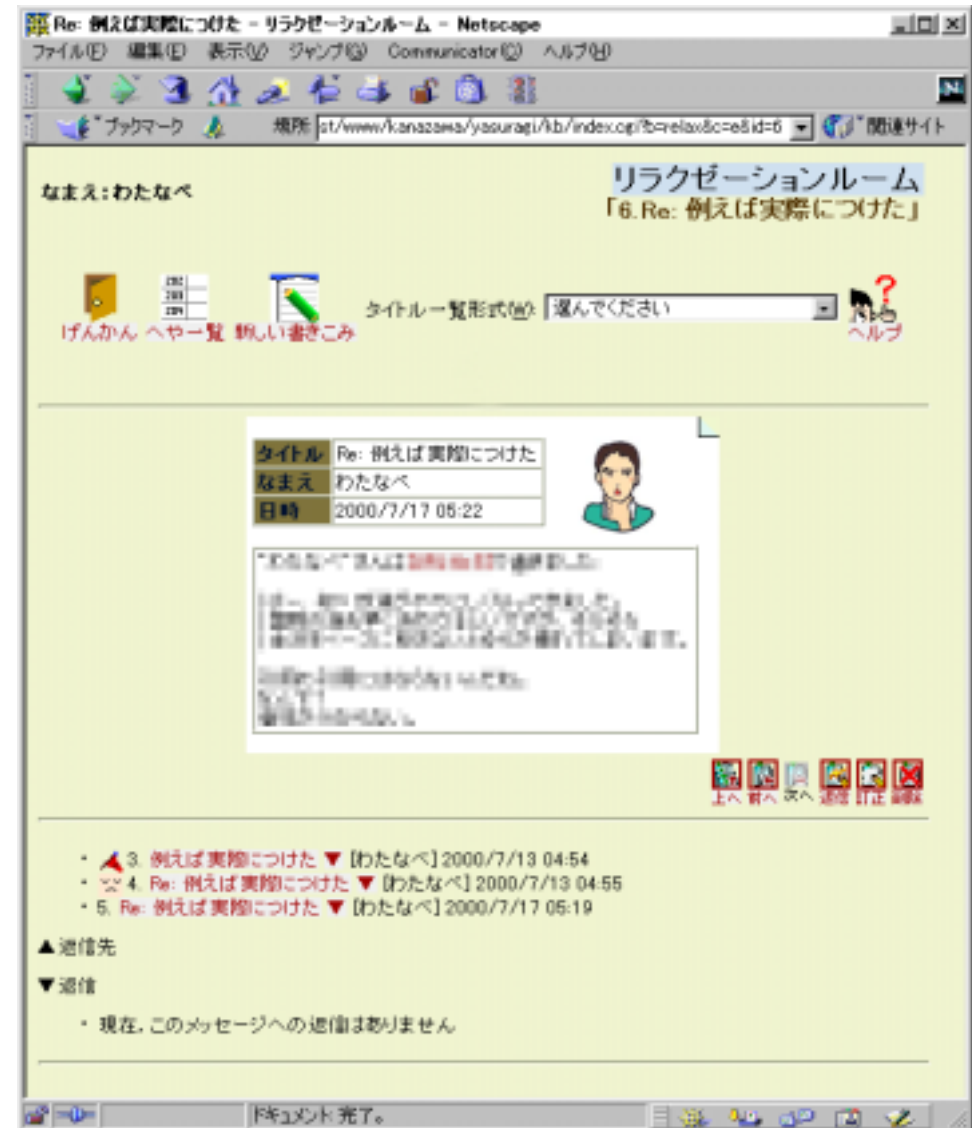
ボードの特徴

- コミュニケーション支援
- 学習支援

両側面の実現を目指す

コミュニケーション支援

- 親しみやすさの演出
 - 表情付きのメッセージ
 - 掲示板でありながらメールのようなインターフェイス



コミュニケーション支援

- メッセージビューの区別



タイトル
なまえ

メッセージ本文



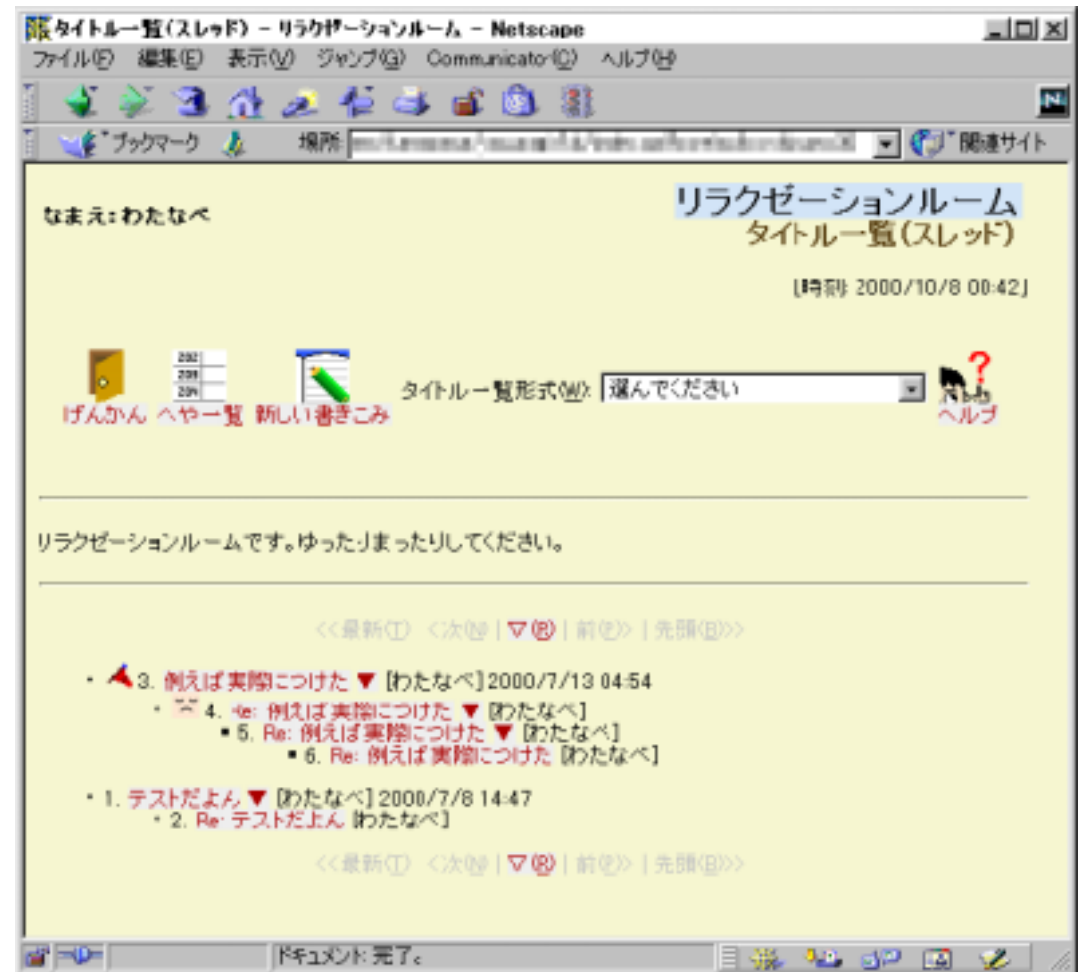
タイトル
なまえ

メッセージ本文

学習支援

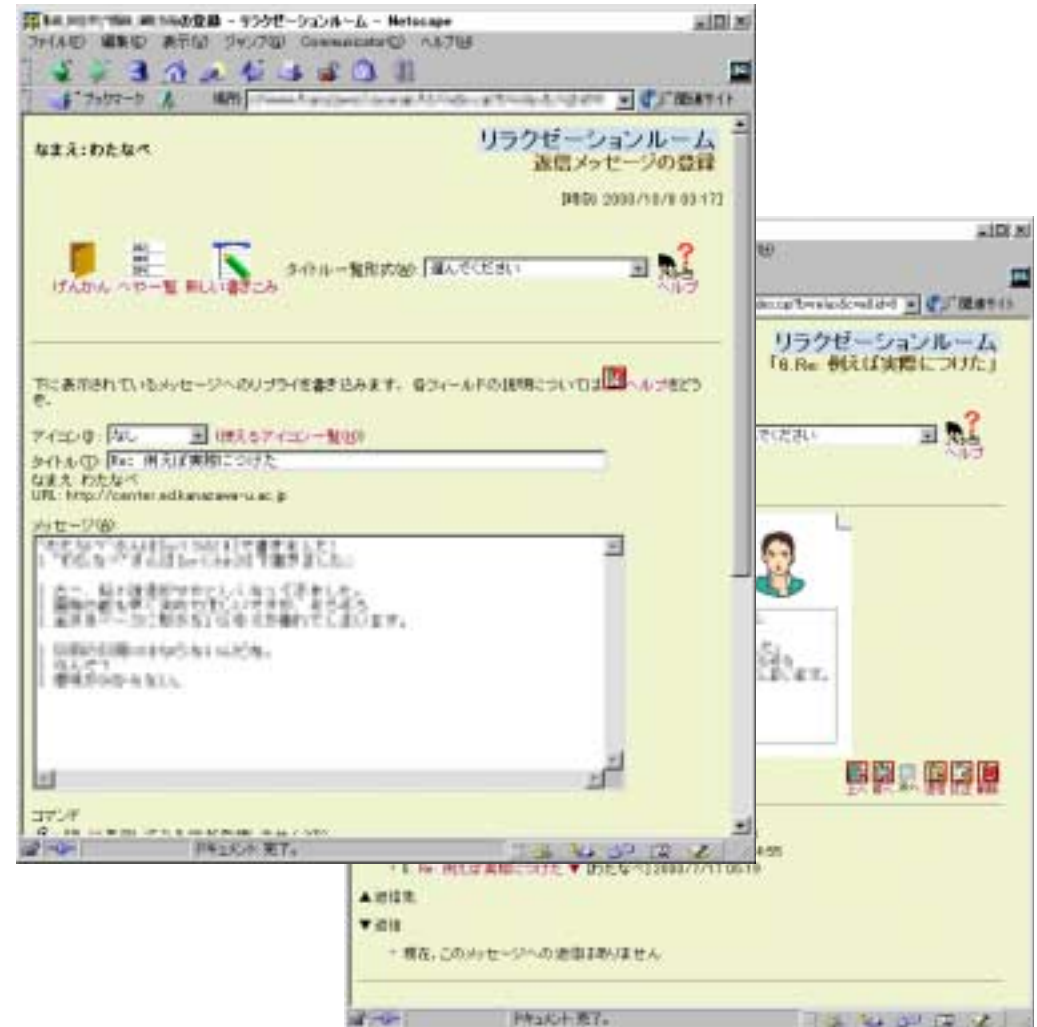
(議論を通じた詰め込み型でない学習)

- 話の流れの分かるスレッド形式
 - 時系列表示では複数の話題をフォローできない
- 画像のアップロード機能
 - 言葉以上の表現力



学習支援

- 書き込みウィンドウの独立
 - メッセージを読み返しながらの書き込み



今後

- 運用
 - システムが解決するわけではない
- Web教材（静止画、動画、音声）の配信と連動
- グループ学習への対応